

しんゆりアート - 劇団わが町

劇団員募集

私たちと一緒に、お芝居を作ってみませんか？お芝居なんて、自分とは関係ないと思っっているあなた。
お芝居は面白そうだけど、いまさら恥をかきたくないというあなた。まだ通昔取った杵柄が、まだ通用するかどうか知りたいあなた。
自分の可能性に賭けてみたいあなた。
私たちと一緒に、歩いてみませんか？
お芝居は、自分を変え、周りを変え、思いを伝えます。
だから……
劇団わが町芸術監督 ふじたあさや

新百合ヶ丘発・市民劇団〈劇団わが町〉の劇団員追加オーディションを開催！

2020年2月の公演や、さらにその先をみすえた活動を行います。

舞台が好きな方はもちろん、未経験でも大丈夫。新しい仲間と作品創りの楽しさや達成感を共有してみませんか。

オーディションについて

- 日程 2019年5月26日(日) ※会場は新百合ヶ丘近辺(予定)
- 応募条件 2020年2月の本番やその先の活動に参加できる方。
稽古に通える方。(2019年9月より原則日曜1日、公演が近づくにつれ週3~5日。時間は週末は午後、平日は夜間が中心)年齢制限なし。出欠は応相談。
- 内容 身体を動かす、台詞を読む等

公演スケジュール

- ワークショップ・稽古 2019年7月に単発のワークショップ、9月より稽古開始
- 2020年2月本番 2020年2月7日(金)~9日(日) 予定 ※会場：川崎市アートセンターアルテリオ小劇場

その他

- 応募ご希望の方は、裏面に必要事項をご記入の上ご応募下さい。【5月13日(月)必着】
- 劇団わが町は単発の企画ではなく、長期的に活動しております。ワークショップや稽古を重ね、上記の公演さらにはその先へと続きます。ご理解の上ご応募下さい。
- 今回の募集は出演者オーディションではありません。出演、スタッフワークなどあらゆる方法で舞台創りにご参加頂きます。

お問合せ

川崎市アートセンター 044-955-0107 (9:30-19:30) <http://kawasaki-ac.jp/th/>



撮影 関口淳吉

応募ご希望の方は、下記の太枠内に必要事項をご記入の上、郵送または fax にてご応募ください。

- 応募先 川崎市アートセンター劇団わが町オーディション係
〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 6-7-1 / fax 044-959-2200

フリガナ 氏名	男・女	年齢(※1)	職業
住所 〒			
tel		携帯	
fax		mail	
応募動機			
舞台経験 ※学校や習い事の発表会など、何でもかまいません。		趣味・特技	
劇団わが町の公演をご覧になったことはありますか？ ある ・ ない / 作品名：			

- 応募締切後オーディション当日のご案内をお送りします。締切後 1 週間経っても連絡がない場合はお問合せ下さい。
- 劇団わが町への参加費はかかりません。
- (※1) 未成年者が応募する場合、保護者の氏名および連絡先もご記入下さい。

しんゆりシアター

アルテリオ小劇場の主催事業をくしんゆりシアターと名付けました。くしんゆりシアターは地域劇場＝リージョナルシアターを目指します。リージョナルシアターとは劇場が公共性をもって、プロの俳優・スタッフを集め、舞台芸術作品の創造発信を行うことをいいます。劇場の活動を評価するのは地域住民の方々です。この地域劇場を理想とし、私たちは川崎市新百合ヶ丘地域の創造発信の拠点を目指します。

劇団わが町 Twitter  @_ourtown_ Instagram  wagamachi

2012年6月に生まれたゆるやかな劇団です。劇団員は地域住民総勢44名。年齢制限はなく、11-78歳までのメンバーが所属しています。劇団を率いるのは劇団わが町の芸術監督ふじたあさや氏。しんゆりシアターのラインナップの一翼を担い、長期的に様々な創造活動を行っています。【劇団わが町の主な公演】『わが町しんゆり』(2013年6月)、『夢みる人』(2014年3月)、『ザ・チェーホフ』(2015年3月)、『わが町-溝の口』(2016年3月)、『恐れを知らぬ27人の劇作家?と49人の俳優たち』(2017年3月)、『クリスマス・キャロル』(2017年12月)

くふじたあさやプロフィール

東京生まれの疎開世代。早稲田大学演劇専修在学中に福田善之と『富士山麓』を合作。放送作家を経て劇団三十人会を皮切りに劇作家・演出家として活躍。日本演出家協会理事長をはじめ、芸団協・日本劇団協議会・日本劇作家協会・児童演劇協会など演劇関係団体の役員、昭和音楽大学特任教授を歴任。現在、アシテジ(国際児童青少年演劇協会)日本センター会長。NPO法人K AWASAKI アーツ理事長。平成18年度川崎市文化賞受賞。【主な作品(戯曲)】『日本の教育1960』『ヒロシマについての涙について』『現代の狂言』(以上三十人会)、『さんしょう太夫』(前進座・斎田戯曲賞受賞)、『サンダカン八番娼館』(文化座)、『しのだづま考』(京楽座・芸術祭賞受賞)、『ベッカニコおに』(劇団えるむ)、『ミュージカル・ねこはしる』(昭和音楽大学)、『臨界幻想2011』『闇の中の白い道』『書かれなかった頁』『事件という名の事件』(以上青年劇場)



写真提供 金子みすゞ著作権保存会

しんゆりシアター 劇団わが町 第8回公演『みすゞ凛々』

脚本・演出 ふじたあさや 音楽 吉岡しげ美

「私と小鳥と鈴と」など多くの作品を残し、根強い人気を誇る童謡詩人・金子みすゞの26年という短い生涯を、彼女を知る人々の証言と詩の数々を美しいメロディにのせ、彼女の在りし日の姿をうつします。

2019年2月9日(土)～11(月祝) @川崎市アートセンターアルテリオ小劇場
一般2,500円 学生(小・中学生)1,000円【全席指定・税込】※未就学児の入場不可。

詳細は川崎市アートセンター(044-955-0107)までお問合せください。